

ふみチャンネル

第30号

音楽はコロナに負けない！！

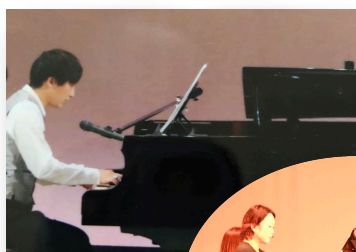
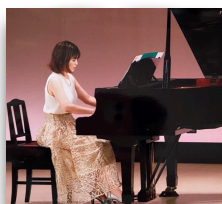


新型コロナウイルスが、今まで培ってきた日本の風習、生業、伝統や文化が人々の暮らしを一変させる事態に直面しています。今年のお盆の行事をとってみても、地域の恒例行事も影を潜め、心では感じていても、行動が制限される事にコロナの恐怖がつきまといてきます。

その様な中でも、7月18日、「第1回 大人の発表会」が陶芸の森信楽ホールにて開催され、私も出演しました。

教室は子供の生徒さんがメインですが、最近では子供の頃にピアノを習っていたお母さんたちが自分の子供を通わせる中で「もう一度、自分もピアノ、歌を!」との思いから再チャレンジする形で、生徒さんになられる方が増えてきています。

そういった中、今回初めて大人を集めての発表会を開催されることとなりました。お正月を過ぎた間もない頃から計画し、当初は6月末に開催する予定でしたが、みなさん一生懸命練習を積み重ねていたところでのコロナ禍。開催自体の判断が非常に難しかったところですが、1カ月予定を延ばし、感染予防対策を徹底出来る方法を考えての開催となりました。三密対策として入口の開放や扇風機によるホールの換気対策、入り口での検温・アルコール消毒、事前の告知も注意喚起のちらし、当日には入場者の記録等々、安全対策を講じながら開催し、感染者も出ずに無事に終演することができました。



また、8月末には、大人の発表会の感染予防対策の経験を活かし、例年開催されている発表会も開催、今回で第37回を数えます。教室は、4歳ぐらいから20歳ぐらいまでのこどもたちのピアノ教室として開校。音楽を通して、子どもたちの健やかな成長だけでなく、礼節を重んじ、無限に広がる才能を引き出し、チャレンジをさせる、そして聴いて感じることの大切さ、言葉の力(歌詞・メロディー)、声を出して歌う楽しさ等々、先生の優しさと明るさが、長きにわたり地域に愛されているのではないかと思います。

これらの発表会では、多くの教え子の皆さんが現役・OBOG問わず裏方のスタッフとして先生をサポートされておられます。リハーサル進行やセッティング、プログラム作成、当日の受付や舞

台照明、音響、撮影、子供の生徒さんの連弾相手や伴奏、手遊びやダンスの指導まで、あらゆる分野でそれぞれの得意を活かして協力しておられます。私も8月の発表会では受付をさせていただき、観覧に来られた方にはご挨拶させていただいたところでした。

昔懐かしい思い出のメロディー、車で聞いた思い出の曲、あの音楽室のLPレコードからのベートーベンやシューベルト、子どもの頃おかあさんに歌ってもらった子守唄に童歌。音楽の無限に広がる発信力、作品から見出す表現力を学びとること、聞くことから表現すること、そして後世に伝えていくことが音楽の持つ魅力なのだろうと感じています。

芸術の秋、音楽に親しんでみてはいかがでしょうか。



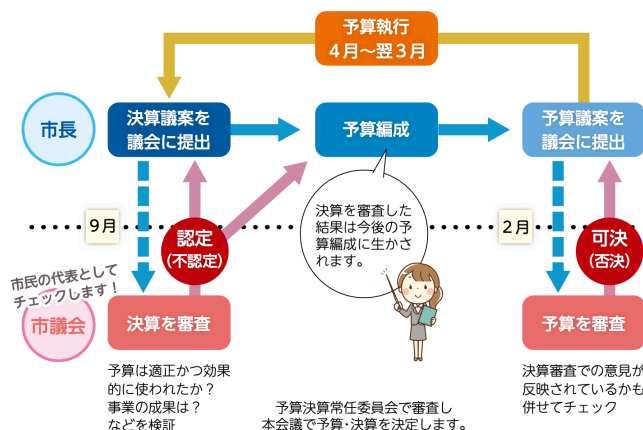
令和2年第4回定例会（9月議会）報告



第3回定例会は8月24日から9月24日まで、31日間の日程で開会しました。主な議案は令和元年度（平成31年）の一般会計、特別会計、企業会計の決算審査です。昨年11月、副議長に就任し9月定例会で1年を迎えさせていただきました。新型コロナウイルス感染症で、議会としての対外的な会合には出席できませんでした。しかし、議会改革推進委員長として災害に対しての議員の活動指針を示す、「甲賀市議会業務継続計画（議会BCP）」を策定、市民の声を聞く開かれた議会のため改革を進めてきました。9月議会には議会基本条例改正会議規則の改定など可決しました。10月に行われる市長選、11月の臨時議会までの間、最後までしっかりと勤めさせていただきます。（文責小河）

決算審査でなにが変わるの？ 令和元年度・予算決算常任委員会報告

市の予算は、使って終わりではありません。市長は、予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ議会に報告します。議会はその内容をチェックし、決算審議では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業成果が上がったかなどを審査し、改善点の指摘や要望をします。それを市が『来年度予算に生かす』ことにより、決算審査の結果が今後の予算につながっていくのです。また、決算審査までには、2名の監査委員（議会選出1名）によって月例監査・各部の聞き取りが監査委員会部局で行われています。



令和元年決算審査の注目は？

歳入決算額469億1,112万7,286円
歳出決算額451億6,983万6,890円

この数字で見えてくるものは、歳入では前年度より約39億9,500万円、歳出では前年度と比べて37億7,800万円いずれも増となっています。増加の要因は景気回復基調による市民税、子供子育て支援による交付金、公共施設整備による増加、市債も60億円増加しましたが、有利な合併特例債の活用による水口体育館や西部学校給食センターなどの大型公共施設の整備を実施したことが要因としてあげられます。

事務事業評価シートの導入

POINT!

平成31年度予算審査時において、議論したことがどのように反映されているか。確認（追跡）することをポイントに18事業を選定、事業評価シートを審査資料として、執行部に提出を求めました。事業の必要性、有効性、効率性などをA,B,C評価で示すもので、A評価はなくC評価4項目、戸籍住民登録事業、学習支援事業、確かな学力向上(小・中学校)あとはB評価でした。今後、審査過程で指摘された事項に対して、具体的な改善策、展望に期待したいと考えます。

9月議会で決まったこと(主なもの抜粋)

審査	令和元年度一般会計決算審査	予算決算常任委員会の審査報告を受け・賛成多数で可決
審査	特別会計・企業会計決算審査	国保・介護・上下水道・病院・診療所他・賛成多数で可決
契約	甲賀市学習者用コンピュータ購入	市内小中学校に5076台(契約金額2億7,520,400円)
条例	固定資産税特別措置条例の一部改正	市内企業の設備投資を更に促すとともに、本社機能や研究開発機能を伴う企業立地を積極的に誘致するため改正
	甲賀市消防団条例一部改正	団員減少による消防力低下を補うために、団員OBを対象に支援団員制度を新たに導入。
意見書	議会の総意として国に意見書を提出	オウム真理教(Aleph、ひかりの輪、山田らの集団)に対する公安調査庁による観察処分の期間更新を求める
		新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める
		ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める
請願	小中学校給食費の負担軽減・無償化を求める請願書の審査	厚生文教で審査で否決、本会議においても否決されました。

補正予算を審査しました(主なもの抜粋)

1000円以下は切上げ

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を防止するために「優先的な接種者」の接種費用の助成等を行います。それぞれの医療機関で接種料が異なりますが、4,000円で試算、予算として示されました。

(県 3,423万円、市4,836万円)



また、学校で今後のインフルエンザ流行期の学校閉鎖・学級閉鎖を抑制するため市が定める対象者に対して接種費用の助成を行います。

【変更前】	【変更後】	無料
65歳以上等 1回接種(接種費用5,137円) *1 個人負担 2,000円 市負担 3,137円	県 1,000円 市負担 4,137円	個人負担 無料
妊婦 1回接種(接種費用4,000円) *2 個人負担 全額	県 1,000円 市負担 3,000円	個人負担 無料

0歳から12歳 2回接種(接種費用4,000円×2回) 個人負担 全額 × 2回	一部負担 県 1,000円 市 1,000円 個人負担 2,000円 × 2回 個人負担2,000円×2回
13歳から15歳 1回接種(接種費用4,000円) 個人負担 全額	県 1,000円 市 1,000円 個人負担 2,000円 個人負担2,000円
16歳から18歳 1回接種(接種費用4,000円) 個人負担 全額	市 1,000円 個人負担 3,000円 個人負担3,000円

*1: 65歳以上等は定期接種であり医療機関に1件5,137円の委託料で支払う。
 *2: 接種費用は各医療機関で異なるが、市内の実績に基づき4,000円で試算している。

インフルエンザ公費負担	新型コロナとインフルエンザの同時流行抑制策	8,259万円
高収益作物次期支援策交付金	売り上げ減少の甲賀の茶生産農家に対して次期作支援	3,000万円
収入保険制度支援対策事業	農業収入保険制度、加入者負担する保険料の経費	500万円
小中学校最終学年記念事業	課外活動中止で学校活動に多くの制約がある児童生徒応援事業	500万円
スカーレットを活用したプロモーション事業	スカーレット俳優を迎え、市内ロケ地を中心に本誌のPRビデオ作成	1,000万円
コミュニティバス運営費補助	利用者大幅減収、夏季休暇短縮による運行日数の増加	2億7,684万円

しっかりとサポート
しています

追跡

あの要望どうなったの・？



仮設工事が行われた現場

す。

として支援を行っていきま
す。また、市から県に働きか
け実現しました。住民の
安心安全は、最優先課題

崩落現場復旧予算が可決

六月一九日未明に発生し
た、2件の民家が直撃を受
けた信楽町勅旨沢出、山腹
崩壊地の治山工事経費70
0万円が、防災対策環境保
全事業として9月議会で可
決しました。(県630万
円、市が35万円、受益者
負担35万) 1日でも早い
復旧のため、通常の急傾斜
事業の単独治山事業では復
旧が遅れるため早期の解決
を優先し、市議から県議に
また、市から県に働きか

大戸川浚渫工事

河川浚渫は県の事業です。
二十五年の水害では、市内
に多くの被害をもたらしま
した。信楽地域全域は一級
河川で、市が単独に工事が
できません。大戸川(信楽
川)の上流の多羅尾地域か
ら黄瀬までの浚渫が急務と
なっています。今回は、以
前に崩壊した信楽小学校前
のほんのわずかに、ごく一部の浚渫が
実施されただけです。台風シーズン
を迎え、近隣家屋のお住まいの市民
の方々は心配が募ります。引き続き
早期の実現を要請します。

市内小中学校学校に新茶寄付



7月1日、朝宮茶
生産農家の関谷武治
さんが、市内幼保小
中学校五十三施設に
一番茶、総重量約五
十三キロを寄付され
岩永市長から感謝状
が贈られました。
この温かいプレゼ
ントは、子ども達へ
元気を届けるととも
に、社会経済が衰退
する中で、市内全域に活力と元気も
届けていた事と思います。

緑茶は抗菌作用があると言われて
います。新型コロナウイルスにも、緑
茶の抗菌作用が関連づけができれ
ば、新たな販路拡大に繋がるのでは
ないかと考えています。

おがわ文人・日々あれこれ活動報告 (7/1~9/30)

- 7/1 志誠会会議
- 7/3 BCPコロナ災害対策会議
- 7/6 行政組合議会
- 7/6 県調理師会三役会
- 7/8 議会改革推進特別委員会
- 7/9 会派長会議
- 7/10 伝統産業会館オープン
- 7/13 常任委員長会議
- 7/13 志誠会幹部会議
- 7/14 産業建設常任委員会
- 7/16 水口納税協会支部常任理事会
- 7/18 大人のピアノ発表会
- 7/20 議会運営委員会
- 7/20 志誠会勉強会
- 7/22 茶業コロナ説明会
- 7/27 全員協議会
- 7/29 BCP災害訓練
- 7/29 議会改革推進特別委員会
- 8/2 自民滋賀第4選挙支部総会
- 8/3 議会改革推進特別委員会
- 8/3 志誠会市長選挙協定
- 8/5 朝宮茶業協会代議士懇談会
- 8/7 産業建設常任委員会
- 8/7 中央病院職員面談
- 8/8 BCP災害訓練
- 8/12 自民県議との懇談会打ち合わせ
- 8/16 みんなの甲賀会合
- 8/20 議会運営委員会
- 8/23 甲賀市戦没者慰霊祭
- 8/24~9/24 9月定例会会期
- 8/25 自民党県連政調会懇談
- 8/30 ピアノ発表会
- 9/1 議会運営委員会
- 9/1 会派長会議
- 9/1 本会議 議案質疑
- 9/2,3,4,7 本会議 一般質問
- 9/5 自民党県連総務会
- 9/7 本会議 追加議案上程
- 9/8 県調理師会三役会
- 9/9 産業建設常任委員会
- 9/10 市長選挙説明会
- 9/11,14,15,16,17 予算決算常任委員会
- 9/12 議会運営委員会
- 9/15 大日寺参詣
- 9/24 本会議採決 終了
- 9/24 全員協議会
- 9/24 BCP災害対策本部会議
- 9/25 市長選挙対策会議



facebook

ふみチャンネル